

令和2年6月7日

ミドリラグビースクール活動再開について

拝啓 入梅の候、コロナと共存する新たな生活様式の実践は不自由さもありますが、身の安全は何物にも代えられないと心得て過ごしておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

スクール活動の安全な再開を目指して、話し合いを進めております。

活動再開時期については、6月中は中止、7月5日（日）令和2年度開校式を予定していますが、今後のコロナの情勢により、変更する場合があります。

★活動再開に際してガイドラインを重視して進めていきます（特に下記の4点）。

○スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン

<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline2.pdf>

○新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴うラグビー活動の安全な再開について

<https://playerwelfare.worldrugby.org/?documentid=219&language=ja>

○ラグビートレーニング再開のガイドライン

<https://www.rugby-japan.jp/news/2020/05/31/50486>

1 活動再開が選手、選手の家族、関係者、地域社会における感染拡大につながらないこと

COVID-19に感染することで多くの方に影響を与えてしまうことや、無症状であっても自らが他人に感染させ得ることを厳しく認識すべきと考えます。

2 活動再開が地域社会のCOVID-19対応資源に負担をかけるものではないこと

ラグビーの活動再開によって、マスクや消毒液などを含む医療資源・設備の供給や医師・看護師を始めとする医療従事者への過度な負荷等の問題を発生させてはならないと考えます。

3 ラグビーの価値を大切に活動を実施していくこと

十分な活動再開が可能となるまでの期間は、移動を伴う大会の開催、激しい身体接触が発生する試合の実施については難しいことが想定されます。それまでの間は、チームで体を動かすこと、ミーティングなどでコミュニケーションをすることなど、それぞれでチームとしての活動を工夫し、ラグビーを仲間と楽しむこと、ラグビーを通して心身を鍛えることなどの面でのラグビーの価値を大切に活動を行ってほしいと考えます。

4 COVID-19対応を含め、「安全」が最重要事項であることをプレーヤーだけでなく

関係者全員が認識して、ラグビーに取り組むこと。

COVID-19感染防止に関わらず、ラグビーには激しい身体接触があり重症事故につながる可能性がある競技であることを選手、指導者、全ての関係者が十分に認識し、あらゆる面において安全な環境においてプレーすることをより一層重視してほしいと考えます。

★トレーニング実施時の感染防止策について

1 日常生活での注意点

新型コロナウイルスは発症する2日前の方や症状のない方からも感染する可能性があります。

トレーニング以外の生活の中で感染しないために、換気の悪い密閉空間、多くの人が密集している密集場所、近い距離での会話や発声が行われる密接場面、これらのいわゆる三つの密を回避するとともに、身体的距離の確保やマスクの着用、手指衛生などの基本的な感染対策を継続し、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を積極的に取り入れてください。

2 トレーニング前

ガイドラインを活用してトレーニング再開に関する理解を深めることを推奨します。

トレーニングへの参加の見合わせ、参加させないことを周知徹底します。

練習当日は、別紙の用紙を提出して、練習参加をお願いします。

(原稿を各自コピーしてお使いください。)

★今年度（2020年）入校申し込みについて

1 ミドリラグビースクール入校申込書

2020年 ミドリラグビースクールに入校希望の方は、申込書に記入をして、現在（2020年6月7日時点）活動再開予定日 7月5日（日）令和2年度開校式に提出をお願いします。

別紙、ミドリラグビースクール生徒申込書の内容を確認、お願いします。

★校長、各指導者から

先日、6月7日（日）9時から大高緑地多目的広場で集合してスクール生たちへのメッセージおよび各自練習方法動画撮影をしました。

ミドリラグビースクールのホームページ <https://midorirugby.com/> で閲覧出来ますので、ご覧ください。

最後にコロナと共存する生活様式は不便の多い今日ですが、この状況が一日も早く解消され、スクール生が元気良くグラウンドを駆け回る姿を拝見できる日々が戻りますように関係者一同、心から願っております。